

「平成23年度PSY（パイオニアスクールよこはま）研究発表会」の公開授業が12月2日、横浜市立白幡小学校（永池啓子校長）で開催された。タブレット端末を活用した小学6年生の国語の授業を取材した。

横浜市立 白幡小学校

その後、動画を再生しながらプレゼン内容について話し合う。

3人グループで 撮影・評価し合う

小林太郎教諭。

単元名は「プレゼンの達人になって、自分の思いを伝えよう」。同単元は、小学校における「話すこと・聞くこと」の総合的なものとして位置づけられており、児童が卒業に向けて小学校生活を振り返り、「12歳の今、思うことを、明確に伝えることが目標だ。授業者は

約10・1インチのアン
ドroidタブレット端末
を使ったこの日の授業
は、ICT利活用による
未来型教育の実証研究の
ひとつで、KDDIがシ
ステム開発などを行っ
ている。3人ひとりの
グループになった児童は、
タブレットにインストール
された撮影アプリを使
い、お互いにプレゼン
の様子を動画で撮影し合

撮影アプリには「いい
ね！」「ボタンと「がんば
ろう！」「ボタンがある。友
人のプレゼンを撮影して
いるときに、自分も取り
入りたい」と思う良い話
し方や内容のときは「い
いね！」「ボタンを、改善
すべきだと思ったところ
では「がんばろう！」「ボタ
ンを押す。集計はすぐに
見ることができ
る。評価の目
安にできる。



発表の評価が高かった場面がひと目でわかる



タブレット端末からTVに映すこともできる

カメラに向かい
思いをスピーチ
児童が話すプレゼン内
容は、これまでお世話に
なった人のこと、将来の
夢など様々だ。
プレゼン時間はひと
り3〜4分程度。撮影に多
少緊張しているのか、中
には棒読み調になった
り、途中で言いたいこと

「我慢はしなければい
けないけれど、でも、泣
いていいときは泣いてい
い」ということがわかりま
した。ありがとうごさい
ました。またいつか会い
ましょう」と、思いを込
めて話す。
「中学生になっても監
督やコーチに教えてもら
ったことを活かして野球
を続けます」と決意を熱

「ぼくはグループのプレゼ
ンと撮影が終わると、撮
影した動画を再生しなが
ら、友人のプレゼンの仕
方について互いに話しあ
う。

映像を見ながら
改善点など発見
グループ活動が終わる
と、この日行った自分の
プレゼンについて、感じ
るようにならなかつたけ
れど、話すこと
に集中してでき
なかつた。笑顔

3〜4人の意見が出た
ところで、小林教諭は黒
板横に設置された大型デ
イスプレイに児童のタブ
レットをつなげ、プレゼ
ン動画を映し出して、改
善点について、クラス全
員で確認し合う。「自分
では意識しているつもり
でも映像を見るとできて
いないし、意識しすぎる
とわざとらしくなってい
まう。普段から意識しつ
つ練習して、本番では意
識しなくてもできるように
にしたい」、「笑顔で話
せるようになったらいい
けれど、話すこと
に集中してでき
なかつた。笑顔

プレゼンスキルを磨く

「中学生になっても監
督やコーチに教えてもら
ったことを活かして野球
を続けます」と決意を熱
く話す。

友だちから「この目を
つぶっていたよ」、「こ
こは声の調子が一定」と
改善点を指摘されたり、
「楽しそうに、うれしそ
うに話しているのがい
い」と評価されたりなど、
プレゼンのできばえを評
価し合い、手元のワーク
シートに自分に対する評
価内容や改善点を書き込
んだ。

たことをクラス全員に発
表した。「話が暗い内容
のときには暗い表情で話
そうとしていたけれど、
映像を見ると、最初
から最後まで暗い表情だ
った」、「表情を意識し
たつもりだったが、映像
を見ると思ったようには
できていない。できてい
ないと思っていたところが
できていた」と、映像
を見ることで得られる反
省や意見が次々に出る。
くくった。

小林教諭は、「書いた
原稿を読んで覚えるので
はなく、タブレットを
活用しながら、自然な話
し方ができるように研究
してください。クラス発
表会が楽しみです」とア
ドバイスし、授業をしめ
くくった。

小林教諭は、「書いた
原稿を読んで覚えるので
はなく、タブレットを
活用しながら、自然な話
し方ができるように研究
してください。クラス発
表会が楽しみです」とア
ドバイスし、授業をしめ
くくった。



機能で、評価、録画し合う
画面を話し合う
録画機能で、評価、録画し合う
画面を話し合う
録画機能で、評価、録画し合う
画面を話し合う

1人1台PCをアンドロイド端末で